

厚生労働科学研究費補助金 慢性の痛み対策研究事業

「慢性疼痛の多面的評価システムの開発と客観的評価法の確立に対する研究」

第1回班会議（H24年度）議事録

日時：平成24年6月24日（日）13:30~15:30

場所：日本橋プラザ 3階

会議室4

出席者（敬称略）

倉田二郎、大城宜哲、前田吉樹、福井 聖、大鳥精司（代理：折田）、西原真理、竹林庸雄、川上 守、越智光夫（代理：平松）、川口 浩、松本守雄、住谷昌彦、荻野祐一、紺野慎一、矢吹省司、関口美穂、二階堂琢也

議題

・慢性疼痛と難治性疼痛の定義の確認

1. 慢性疼痛：NRSは問わない。持続期間は発症から3か月以上持続する疼痛

2. 難治性疼痛：意見が様々あり、まとめることが困難。「日常生活を送る上で、支障をきたす程度の痛みが長期間持続」など明確に定義を行わない方向で検討する。

・症例集積のプロトコル内容検討

1) 「4. 研究対象者」について討議が行われた。

・対象症例数について、Power analysisは必要ないか 探索的研究のため、必要なし

・関節疾患で、腰痛も合併している患者が多いが、複数部位の痛みを有する場合、対象に含めて良いか 症状が合併している症例を含めても構わない。NRSは部位別に問診する。

・failed back syndromeは痛みの原因が多岐にわたるため、対象から除外する。

2) 「6. 調査項目」について討議が行われた。

・医師記入用シートに「罹病期間」の項目を追加する。

・BS-POP治療者用の記入時期をどうするか 診察の回数、期間によって、

結果が変動する可能性があるため． 課題とした（担当：二階堂）

- ・ アンケート調査票の現在の「痛み」についての質問の問1 「現在ある痛みの強さはどのくらいですか」の質問は pain DETECT で代用可能である．
- ・ アンケート調査票の現在の「痛み」についての質問の問3 「現在ある痛みのために、医療機関を受診したことがありますか」では、代替医療は含めないこととする．
- ・ 社会的因子（患者回答用 / 医師記入用）の整理を行う（担当：西原先生）
- ・ 運動習慣の質問項目 / 回答肢について検討を行う（担当：矢吹先生）
- ・ 学歴 / 収入の質問項目について検討を行う（担当：関口先生）
- ・ voxel-based-morphometry (VBM) を追加調査項目に入れる．脳 MRI の撮像条件を決定する（担当：福井先生）

3) 「7．解析項目」について討議が行われた．

4) その他

本研究を各施設で倫理委員会に提出していただく．

．今後の予定

- 1) 課題の回答〆切：7月9日（月）
担当者からの回答を得た後、質問票に反映させる。
- 2) 質問票内容再確認：7月26日（木）
修正質問票をメールにて研究分担者の確認を得る。
- 3) 次回の班会議の候補日（10月頃）について、各研究者にメールで連絡し、参加可能者が最も多い日程で次回の班会議を調整する。

事務局：福島県立医科大学医学部整形外科学講座
関口美穂、二階堂琢也